

「開かれたアーカイブズを目指して」 大阪府公文書館の取り組み

大阪府公文書館

大倉 竜一 おおくら・りゅういち

1. 公文書館開館、そして移転、開設

「大阪府公文書館」は、公文書館法が制定される2年前、昭和60年11月に、大阪市の南部、住吉区帝塚山で開館しました。この帝塚山の地は、閑静な住宅街がひろがり、かつては大阪女子大学のキャンパス、現在も帝塚山学院が本拠を置く、文教地区でもあります。

この地に、公文書館が開設された経緯は、昭和59年に策定された「大阪府公文書館（仮称）設立第1次基本計画」で、当面の構想として、帝塚山にあった旧大阪女子大学図書館の既存施設を有効活用して、暫定的に開設するとされ、長期構想の考え方としては、情報の収集、蓄積及び府民の利用の便等を考慮して、府庁の本庁舎又はその周辺が望ましく、今後、庁舎周辺整備等の具体化の中で検討するとされたことによります。

帝塚山の公文書館は、昭和26年に建てられたモダンな建物ですが、書庫の容量が少なく、隣接する府有施設の一部を借りて書庫にするような状態であり、また老朽化と耐震性の両面での課題を抱えていました。

その後、公文書館の移転については、本府の財

政状況や行財政改革の視点、庁舎周辺整備や府有財産の活用状況など、さまざまな要素も加味されて検討が行われてきました。こうした経緯を踏まえて、平成23年4月には、現用の公文書の閲覧・公開請求の窓口である「府政情報センター」との窓口機能の一元化により、現用文書、歴史的文書の情報をワンストップで提供し、府民の利便性の向上を図るため、「大阪府公文書館」と「府政情報センター」とを併設した「大阪府公文書総合センター」を、大阪の中心地大手前の、東に大阪城を望む大阪府庁本館1階に開設しました。帝塚山での開館以来、四半世紀を経て府庁の本庁舎へ移設されたこととなりますが、今後とも閲覧・展示スペース、書庫などの設備の充実に努めるとともに、公文書の収集・保存や調査研究・レファレンス機能の充実に努めていきたいと考えています。

2. これまでの取り組み

公文書館は、その施設の性格から、一般府民の方々には馴染みが薄く、認知度が低いために、その必要性さえも理解されにくいのが実状です。このため、大阪府公文書館では、公文書館の存在をPRし、公文書館において、歴史的文書資料類を



写真1 公文書総合センターが入っている府庁本館



写真2 公文書総合センター入口

後世に残し伝えていく大切さを知っていただくために、様々な周知・広報活動に取り組んでいます。

2.1 企画展示

その取り組みの一つに「企画展示」があります。企画展示は、開館以来、年1回のペースで、大阪にゆかりのある題材をテーマに、公文書館所蔵の資料を展示してきました。府庁本館に移転した平成23年度からは、年3回程度のペースとなり、公文書総合センター前の看板や府のホームページにて周知して、訪問者を受け入れています。平成23年以降に開催した「企画展示」のテーマは次の通りです。

平成23年度

- 「大阪府の誕生一明治期の大阪一」
- 「大正時代の大阪～まちとにぎわい～」
- 「移り変わる大阪府のまちなみ」
- 「大阪府府庁本館が建てられた時代」
- 「初公開 平池家文書」

平成24年度

- 「大阪－新世界の歴史」
- 「大阪府鳥瞰図とおおさかの橋」
- 「大阪府鳥瞰図からみた大阪の鉄道」

平成25年度

- 「絵図と写真でみる中之島の歴史」

平成24年度開催の「大阪－新世界の歴史」では、大阪の名所である新世界の「通天閣」の運営会社から、また、「大阪府鳥瞰図からみた大阪の鉄道」では、関西の大手私鉄5社、平成25年度開催の「絵図と写真でみる中之島の歴史」では、日本銀行大阪支店から資料を提供していただくなど、様々な



写真3 公文書館

機関と連携を図りながら、展示を企画しています。

2.2 学習会形式型イベントの開催

取り組みの二つ目として、「歴史学習会」や「古文書講座」を開催しています。これは、本府府政情報室広報広聴グループが実施している「公募型府政学習会」とタイアップした企画で、受講者を公募し、公文書館の資料を活用した歴史に関する学習会や講座を開催しています。学習会形式では、会場や準備等の関係から、30名前後の方々しか対象にはできませんが、公募型にすることにより、紙媒体の大阪府広報誌やインターネットの案内に掲載され、多くの府民に、大阪府公文書館の名称や事業内容をPRする機会になります。またホームページに、学習会のレジュメや資料を掲載することにより、多くの方々に訴求することができると考えています。平成23年以降に開催した「イベント」は次の通りです。

「親子歴史学習会」－中之島の歴史を散策しよう～親子で歩く!!中之島～

小学4年生から中学生と、その保護者を対象に実施する夏休み企画として、夏休みに親子で、公文書館所蔵資料を通じて大阪の歴史を知ってもらい、また公文書の大切さと歴史を学ぶ面白さを知ってもらう企画です。親子が対象であるので、クイズやエピソードなどを交えながら楽しく学べ、夏休みの自由研究に役立ててもらえるような内容にしています。平成24年から実施しており、公文書の「時の経過」を、親子の「世代」で実感して頂くという、恒例イベントになりつつあります。

「古文書講座」－古文書に親しもう



写真4 府政情報センター

大阪府公文書館には、江戸時代の庄屋である旧家から寄贈を受けた古文書を収蔵しています。これらの古文書を題材に、古文書の意味、取り扱い方、解説などの講座を開催しています。平成23年度には、古文書の修復方法の説明と修復作業を体験していただく企画も開催しました。これらを通じて、庄屋や名主の古文書が公文書または公文書に準じた文書であることを知ってもらい、歴史的な文書として保存していく大切さ、公文書館で保存する役割を認識してもらおうきっかけとしてもらっています。

2.3 講義講演形式型イベントの開催

本府府政情報室広報広聴グループが実施している府政学習会には、受講者を公募する「公募型府政学習会」とは別に、団体・グループの申出により実施する「随時型府政学習会」があります。取り組みの三つ目として、事前に大阪府公文書館がエントリーしていたテーマを選択した府政学習会のテーマ学習会に公文書館専門員を講師として派遣しています。

25年度公文書館エントリーテーマ

「大阪府庁本館が建てられた時代」

「大阪－新世界の歴史－明治から大正の新世界をふりかえる－」

「大阪府鳥瞰図とおおさかの橋～おおさかの橋いまむかし～」

2.4 庁舎見学会のルート選定

大阪府の本庁舎は大正15年建築の歴史ある建物で、国内最大級のステンドグラスや壮麗な室内装飾など大正時代の面影を残す「正庁の間」や、全国47都道府県の中で一番古い「府議会議場」等の見学者も多く、「府政学習会」として開催される「庁舎見学会」には、できる限り見学ルートに選定してもらっています。現在、「大正の広重」と呼ばれた吉田初三郎が昭和7年に描いた「大阪府鳥瞰図」の原画を常設公開しており、その所蔵史料の説明を行うなど、公文書館の認知度アップに努めています。

3. 開かれたアーカイブズを目指して

大阪府公文書館では、これまでも限られた予算の中で、職員が知恵を絞り、工夫して、公文書、公文書館を広く知っていただくこと、展示やイベント等の開催に取り組んできました。しかし、公文書館の性格から、利用者数の増大だけを考えれば限界があり、存在意義を問われることも多いのですが、公文書の収集・保存の意味、役割について、根気強く、広く、府民に知ってもらい、公文書の保存が、未来への人々の遺産、未来の人々から預かっている資産であるという意識、認識を醸成して、かけがえのない公文書館であることに理解と協力を求めていく取り組みこそが、「開かれたアーカイブズ」を目指すことであることを自覚して、地道に取り組んでいきたいと考えています。



写真5 「親子歴史学習会」の様子



写真6 「府政学習会」の様子

データシート

機 関 名：大阪府公文書館

所 在 地：〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目1-22 大阪府庁本館1階

電話/ファクシミリ：06-6944-8374/06-6944-2260

Eメール：johokokai-g06@sbox.pref.osaka.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.osaka.jp/johokokai/archives/index.html

交 通：大阪市営地下鉄「天満橋」「谷町四丁目」駅下車 徒歩約10分

開館年月日：昭和60年11月11日

設置根拠：大阪府公文書総合センター設置要綱（平成23年4月18日）

組 織：知事－府民文化部－府政情報室－情報公開課－公文書グループ

人 員：課長補佐（1）/主任専門員（2）/副主査（1）/非常勤嘱託員（4）

建 物：鉄筋コンクリート造6階建て地下1階の一部（閲覧室・事務室1階の一部、書庫地下1階の一部）

所蔵資料：行政文書、行政刊行物、古文書他 約15万7千点

休 館 日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始

主要業務：（1）歴史的文書資料類等の収集、整理及び保存に関すること
 （2）歴史的文書資料類等の展示及び閲覧に関すること
 （3）歴史的文書資料類等の調査及び研究

